

おもしろ下物ビオトープ水辺のにぎわい創生事業について

琵琶湖保全再生計画における琵琶湖を『支える』取組、および、「健康しが」の体感フィールドとして自然と触れ合う場を提供できるようにするため、平成30年度に下物ビオトープを南湖におけるビオトープ拠点として再整備した。

ビオトープの維持管理(除草・池清掃)や環境学習会を通じて、多くの関係機関と連携する。連携している団体や観察会参加者、道の駅利用者等の利活用を図り、ビオトープと周辺施設を相互につなげ、来客の相互乗り入れなどによる集客数の増加などの烏丸半島の活性化につなげる。

事業の全体像

場の守り

ビオトープおよびヨシ維持管理
ハス池維持管理
ビオトープの生態系保全

普及・啓発

生物観察会(昆虫、魚類等)
稚魚放流

ネットワークづくり

ビオトープの利活用による連携を通じた烏丸半島(ビオトープ周辺施設)の活性化

地域の活性化・維持管理等連携機関

株式会社伊藤園	水資源機構	草津市・守山市
水生植物公園みずの森	淡海環境保全財団	道の駅草津
琵琶湖博物館	県(琵琶湖環境部・ビワイチ推進室)	
草津北部まちづくり協議会	その他の地元組織	

令和6年度事業

ビオトープおよびヨシ維持管理

ハス池維持管理
【水の森・草津市と共同で実施】

環境学習会
(生物・生態系に関する学習)

各団体の連携方法、各団体の役割、
下物ビオトープの利活用方法、それ
に伴う烏丸半島の活性化等につい
て協議

事業のねらい

- ・自然再生・維持
- ・体験学習の場の創出・維持
- ・赤野井湾のハスの復活

- ・環境学習等を通じて
ビオトープを周知

- ・環境学習の場などとしての利用を促す。
- ・ビワイチ参加者や周辺施設来客者の利用を促す。

利用者の増加

烏丸半島・周辺地域の活性化

令和6年度 下物ビオトープ環境学習会実績

①生物観察会

【開催日】 令和6年9月14日(土)

【参加者】 一般公募の小学生(保護者含む) 5名

【内容】

- ・ビオトープにて魚等の生物採集
- ・琵琶湖博物館学芸員による解説



②池の水抜き観察会

【開催日】 令和6年11月23日(土)

【参加者】 一般公募の小学生(保護者含む) 17名

【内容】

- ・ビオトープの水抜きと魚等の生物採集
- ・琵琶湖博物館学芸員による解説



下物ビオトープをご活用ください

- ・ビオトープ見学等のご要望があれば職員がご案内します
- ・その他、こんなことがやりたい、ということがあれば、お気軽にご相談ください

連絡先

琵琶湖保全再生課

TEL: 077-528-3463



詳しくは
下物ビオトープホームページ

